

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	杭基礎の耐震設計法小委員会		主 査 名：中井正一 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 基礎構造運営委員会	委員長名：中島正愛 主 査 名：中井正一	
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	二次設計を含む動的な考え方に基づく杭基礎の新たな耐震設計法の枠組みを構築し、建築基礎構造設計指針の改定に反映させる。WG 中心で活動する。 初年度：基本方針に基づく枠組みの検討、応答変位法・地盤反力係数提案 2 年度：耐震設計法の枠組みの提案、指針執筆準備、本文書の検討 3 年度：大会 PD で会員から広く意見を聴取、方針決定、指針執筆		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：中井正一 (千葉大学) 幹事：田村修次 (京都大学)、鈴木康嗣 (鹿島建設) 委員：安達俊夫 (日本大学)、時松孝次 (東京工業大学)、飯場正紀 (建築研究所)、関 崇夫 (前橋工科大学)、土方勝一郎 (日本原子力技術協会)、三町直志 (日本設計)、土屋富男 (竹中工務店)、金子 治 (戸田建設)、小林勝巳 (フジタ)、藤森健史 (大林組)、眞野英之 (清水建設)		
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・杭基礎構造の応力評価 WG：杭の耐震性能にとって安全側・危険側になる要素を整理し、杭の変形性能を考慮して、合理的な杭応力評価法の構築。 ・杭基礎構造の地震力評価 WG：杭基礎の耐震設計において基本となる地震力評価の考え方と具体的方法論の検討。 		
2012 年度予算	550,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 二次設計を含めた杭基礎耐震設計法の基本的な枠組みの検討。 2. 杭の応答変位法における低減係数の提案、地盤反力係数設定法の提案。 3. 統一地盤モデルの枠組みの検討。
委員会活動の問題点 ・課題	